



あさひ燦々



理念 地域の人々と勤労者の方々に信頼される医療を提供します

○基本方針

- ① 患者さんの権利を尊重して、患者さん中心の医療を実践します。
- ② 多職種と幅広く連携し、地域医療の充実に努めます。
- ③ 地域の中核病院として急性期医療・救急医療の充実に努めます。
- ④ 慈愛の心に満ちた医療人を育成します。
- ⑤ 一般医療を基盤とした勤労者医療を積極的に実践します。
- ⑥ 働き甲斐のある職場づくりをし、健全な病院運営を行います。

特集 1

旭ろうさい病院長に就任して



旭ろうさい病院
院長 齋田 康彦

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年もよろしくお願い申し上げます。

昨年4月に宇佐美前院長の後をまかされ病院長に就任してあっという間に新年を迎えました。私自身、令和元年5月に新病院になると同時に旭ろうさい病院に赴任して8年目となります。

昨年は、コロナ禍は落ち着き平常

の診療が戻ってきたのですが、病院にとっては厳しい一年となりました。入院患者さんの在院日数が昨年より2日ほど短くなったため、病床稼働率が低くなり収入が思うように伸びなかった反面、物価高による医療資材や燃料、食料品などの価格高騰のため支出は増加し、賃金を上げることができず看護師をはじめ医療に従事する人の確保が困難で苦しい一年でした。

医療を取り巻く現状と課題は、電子カルテや電子処方箋に加え昨年12月

に本格移行したマイナ保険証の活用など医療DXへの対応、少子化による将来的な医療従事者不足、高齢化による医療費増大に伴う財源不足、それによる社会保険料の増額や負担問題、地域医療構想においては人口減少を見据えた病床数や病院機能の検討など多岐にわたっており、当院も一つずつきちんと対応しながら地域医療を進めていく必要がありますが、なかなか険しい道だと感じています。

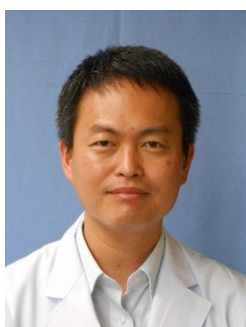
しかし、当院は地域の人たちのために医療を提供する病院で、地域医療支

援病院であり二次救急指定医療機関であります。また、治療と就労の両立支援という勤労者医療を担う病院でもあります。そのため、このような厳しい医療環境の中でも、医療の質を保ち、さらに向上していけるよう職員全員が一丸となって頑張っています。そして、地域の医療機関との関係を密にして、地域の皆様に安心して生活していただけるよう、一年間継続して充実した医療を提供できるように取り組んでいきたいと思っています。今年も皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

特集 2



糖尿病治療薬マンジャロについて



旭ろうさい病院

糖尿病内分泌内科部長 小川 浩平

現在の糖尿病治療は、「低血糖を起こさない」と「体重を増加させない」がトレンドになっています。1990年代前半、スルホニル尿素薬とインスリン注射しか治療薬がなかった時代には、無理にHbA1cを下げようと高用量の投薬がなされ、重症低血糖による昏睡で救急搬送されるケースが目立ちました。また、低血糖を回避するため食事量が増えてしまい、体重のコントロールに苦労したものでした。その後多くの新薬が登場し、現在は重症低血糖が少なく体重減少効果があるGLP-

1受容体作動薬やSGLT2阻害薬が広く普及しており、当時とは隔世の感があります。

マンジャロは週1回投与のGIP/GLP-1受容体作動薬であり、従来のGLP-1受容体作動薬より強力な血糖降下作用と高い体重減少効果が期待できる薬剤です。アテオスというデバイスが非常に優秀で、ボタンを押すだけで自動的に注射が完了する設計となっています。従来の注入器のように針を取り付けたり単位数を合わせたり

する必要はなく、針先を見なくても注射出来るため、患者さんの物理的・心理的負担を大きく軽減します。

当院では安定供給されるようになった2024年6月から多くの患者さんにマンジャロ注射を導入しております。先日データをまとめたところ、確かなHbA1c低下と体重減少を認めました。特にHbA1cは平均2.2%低下し、そのあとリバウンドする症例はわずかでした。管理栄養士による聞き取りによると「こってりした料理よりあっさりした和食を自然に選ぶようになった」「きのこ類を好むようになった」などと食事の好みが変わるケースが見られました。

マンジャロは多くの患者さんにとって良好な治療成績が得られています。が、いくつかの注意点もあります。

- ① 消化器系の副作用：吐き気・下痢・便秘などの副作用があります。治療の開始直後や投与量を増やした時に現れやすく、通常は薬に慣れるにつれて軽減します。
- ② 高齢者への配慮： 筋肉量減少

(サルコペニア)を防ぐため、少なめの用量にとどめるなど慎重に投与します。

- ③ メンタル変調： イライラ感やうつ傾向などのメンタルの変調が見られる場合は、投与を慎重に検討します。
- ④ 金銭的負担： 新薬であり薬価が高額なため、患者さんの金銭的な負担を考慮した上で導入を提案します。

糖尿病との付き合い方で大切なのは、諦めずに一步步進むことです。私たち糖尿病チームは患者さん一人ひとりの生活や価値観を尊重し、最善の治療を共に考え実践していきます。不安なこと、気になることがございましたら、どうぞお気軽に私たちにご相談ください。



教えてドクターQ&A



【質問】

がんを内視鏡(胃カメラや大腸カメラ)で切れると聞きました、こういった治療法ですか？

【回答】

食道・胃・大腸の早期がんに対して行われている治療には、スネアといった金属の輪を用いる方法(内視鏡的粘膜切除術：EMR)と小さな電気メスを用いる方法(内視鏡的粘膜下層剥離術：ESD)があります。

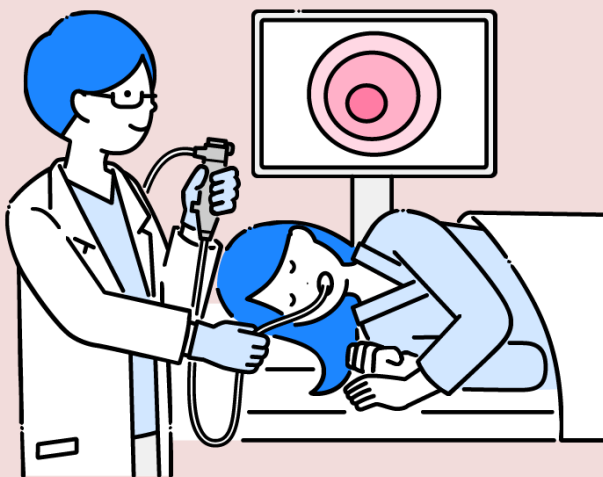
EMR は以前から行われていましたが、ESD は 2006 年に胃がんに対して行われるようになった比較的新しい治療法で、その後食道や大腸にも行われるようになりました。ESD は、腫瘍の形や大きさ、部位にかかわらず、一括切除できる(ひとかたまりでとれる)ため、食道や胃では、ほとんど ESD が行われています。また、大腸の場合は、スネアで一括切除できる小さなものを EMR で、それ以外は ESD で切除されています。

合併症としては、穿孔(穴があくこと)と出血があります。どちらの方法も頻度は比較的少ないですが、ESD の方が合併症率はわずかに高いとされています。また、ESD の場合には、まれなことではありますが、後になって穿孔することがあり、その場合は緊急手術が必要なことがあるため、入院して状態を確認します。そのため 1 週間程度の入院が必要となります。

がんは進行するとリンパ節に転移することがあり、消化管にある病変は切除できていても、リンパ節にがんが残ってしまう可能性がある場合(各臓器により基準は異なります)には、追加で外科手術を勧めることがあります。それを評価するのが切除組織の病理診断(顕微鏡での検査)となりますので、内視鏡での切除がうまくいっても、治癒となるかは病理診断の結果で決まります。

内視鏡で治癒するような早期の場合、がんによる症状はほぼありませんので、貧血がある方や、リスク因子を持つ方(食道では飲酒や喫煙、胃ではピロリ菌の感染など)、便潜血陽性であっても症状ないからと精査を受けられていない方などには、内視鏡検査をお勧めします。がんを早期発見して、内視鏡で治しましょう。

旭ろうさい病院
消化器内科副部長 尾関 貴紀





旭ろうさい病院公式Instagram 開設いたしました

旭ろうさい病院
総務課 郷司 英里

この度、1月より旭ろうさい病院公式Instagramを開設いたしました。

Instagramでは、病院の最新情報、病院に親しみをもってもらえるようなコンテンツ、毎週木曜日に開催しているキッチンカーの出店情報、病院職員の採用情報などを発

信していく予定です。Instagramを通して、旭ろうさい病院のことをさらに知っていただくきっかけにしていきたいと考えております。

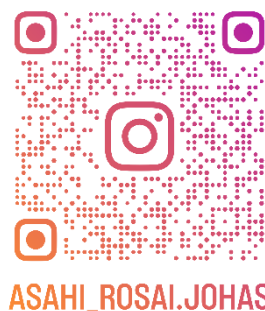
QRコードまたはInstagramにて「旭ろうさい病院【公式】」と検索いただき、是非フォロー、いいねをお願いいたします。



このプロフィール
画像が目印!



QRコードを読み取り、
フォローをお願いします





当院の人間ドックについて

旭ろうさい病院では、日帰り 1 日ドックを行っております。

査を受けていただくことが大切です。

□人間ドックの必要性

生活習慣には食事・運動・睡眠・飲酒・喫煙などがあります。良くない生活習慣が長く続いている方は、生活習慣病が心配です。

健康は人生最大の宝です。

人間ドックを通して生活習慣を正し、健康を維持し、豊かな人生を歩まれるためのお手伝いをさせていただきたいと思います。

生活習慣病には虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)・高血圧症・糖尿病・肥満症・脂質異常症・がんなどがあり、初期にほとんど症状がありません。それら生活習慣病が顕在化しない間に、異常があれば発見し、生活習慣の改善をしていただくことが、人間ドックの目的です。

その他、脳ドックも行っております。詳しくは、当院ホームページよりご確認ください。

人間ドックで異常を指摘された方、あるいは異常の疑いのある方は、医師の指示に従い治療や精密検



当院ホームページ QR コード

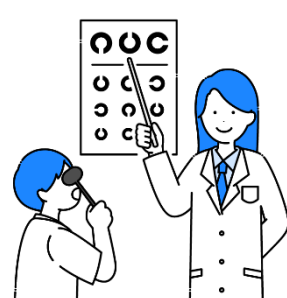
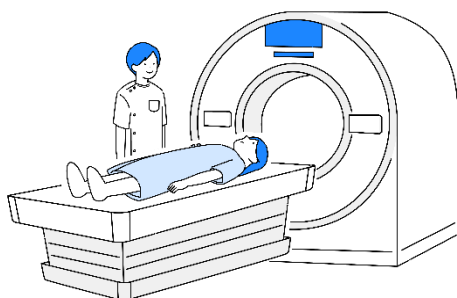
当院の人間ドック

人間ドック日時について	月～金曜日（祝日を除きます） ※午前 8:30 までにご来院ください。 ※人間ドック終了時刻は、概ね 14:00 頃です。
申込方法	完全予約制です。 お電話または直接、当院の健康診断部にてご予約ください。 申し込み、検査項目の追加および変更は受診日の 2 週間前までにご連絡ください。 電話:0561-54-3131（代）内線 2100
予約受付時間	月～金曜日（土・日・祝日を除きます） 14:00～16:00

胃部検査について	胃部検査は胃透視または胃内視鏡（胃カメラ）を選択いただけます(追加料金 2,700 円)。予約時にお知らせください。 胃内視鏡（胃カメラ）については、体へのご負担の少ない経鼻カメラ（鼻からの検査）も選択できますので、予約時にお知らせください。
当日のスケジュールについて	午前中（一部オプションは午後）に検査を行い、午後から医師による診察・検査結果などの説明をいたします。
当日の昼食について	当院の管理栄養士の監修による減塩低カロリー食をご用意しております。
保健指導について	みなさまの生活習慣についてお伺いし、アドバイスさせていただきます。お気軽にご相談ください。
お支払いについて	現金またはクレジットカードがご利用いただけます。

人間ドック検査項目

料金	一般コース 36,850 円（消費税含む） ※胃内視鏡または胃透視から選択 内視鏡希望の方は追加で 2,700 円かかります。
身体測定	身長、体重、腹囲、肥満度、BMI
呼吸器検査	胸部 X 線直接撮影、呼吸機能検査
循環器検査	血圧、心電図（安静時）
胃腸検査	胃部検査（胃透視または胃内視鏡） ※胃内視鏡は、経口または経鼻の選択可 便検査（2 回法） 腹部超音波検査
血液検査	貧血、肝、腎、脂質、血糖
尿検査	尿一般、沈渣
眼・耳検査	視力、眼底カメラ撮影、聴力検査



【編集後記】

寒さがぐっと厳しくなり、冬本番を迎えました。皆さま、体調など崩されていませんか。

令和8年度の診療報酬改定はプラス改定となることが発表されており、医療機関にとっては、心強い追い風となる見通しです。

この機会を活かし、より質の高い医療を提供し、安心して通院していただける病院づくりを進めて行くことで、地域の皆さまに「ここに来てよかった」と思ってもらえる存在でいられるよう、職員一同気持ちを新たに頑張っていきたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 足立 崇

